

さわやか通信

年行か
1 月号
0 2 号
0 第
9 第
2 巻
さ

事務処理の

『OA化』進む

代表 上田 弘

北海道難病連と釧路地方腎友会が共同で運営している「自立事業センターさわやか釧路」も開設してからは、はや4年目に入りました。

仕事の確保についてはまだまだ不十分ではありませんが、行政や市民各界層の方々から暖かいご支援をいただきながら、所員一同頑張っていますので、今後とも変わらぬご支援・ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

今年の事務所内における目標として、「事務処理を「簡便・正確・迅速性」

の見地から「パソコン処理」を検討し、現在までに一部運用中のものでありますので照会させていただきます。

一つは、通院送迎事業における「予約表・利用会員への通知VOへの送迎通知」をパソコンで処理し、同時に「送迎実績集約」をも行っています。

二つには、事務所経費処理についても、複式簿記方式によるパソコン処理を行うため、今年一年を試行期間として運用しているところとす。

また、年末には「年賀及び飾り」の取扱も始まり、事務所内の事務量も多くなることから、飾り取扱関係のパソコンによる帳票類の作成から集計を検討しているところとす。

今日政府で、IT時代と盛んに言っているように、手作業による事務処理をOA化することにより、当事務所における事務処理が「簡便・正確・迅速性」につながることと期待しています。

4年目をむかえて

所長 佐藤 信洋

早いもので、「さわやか釧路」も開所して4年目をむかえています。開所の準備、当初はいろいろな面でわからないことが多く苦労しましたが、現在は、ある程度安定してきたと思っております。

登録会員は13名で、仕事は各人の能力を生かせる次の三つに大別されます。

(一)企業派遣・企業に派遣し、仕事は配達・調理などをを行う。

(二)パソコン印刷・各種書類(サークル・自治会・研修会など)及び各種印刷。

(三)簡易な手作業・企業より製本のための丁合、飾りの部品組立。

又、毎年10月より12月までは年賀状の韓旋販売と飾りの販売を行っており、その時期は大変忙しい状況です。その他、将来的に考えているのは介護用品・福祉機器の販売です。

主な福利厚生面では、レクリエーションと2ヶ月に一度の昼食会を予定しております。昼食会は仕事の都合で全員が揃うのはむずかしく、予定通り実行できないような状況です。

登録会員には、常日頃より仕事ももちろん大事



事務所風景

だけれども、お互い難病を抱えている身であり、体が第一で無理をせずに、元気で楽しく働こうと言っています。

最後になりましたが、「さわやか印刷」へ協力をいただいたている釧路市、釧路保健所をはじめ、関係者各位に心より厚くお礼と感謝を申し上げます。

亮三君に

インタビュー

さわやか印刷では、現在左図のような仕事を主にしています。その中でも今回は、配送の仕事をしている高橋さんにお話をうかがいました。

私が、さわやか印刷へ通所して早くも4年目を迎えました。

現在、私と常田君の二人は一週間に3、4日交代で鶴ヶ岱にある山田弁

当さんに朝5時から正午位まで勤務しております。おにぎり・各種弁当、あとは注文があればオードブルや法事の時の食事などを予算に合わせて作っています。

私と常田君は御飯炊きや、五目御飯や赤飯のおにぎりを作ったりした後、釧路駅に配達しています。毎日忙しく、職場は女性4人男性は2人だけですが、楽しい会話をしながら働いています。最初は、なかなかコツがつか

めず弁当屋さんの方にも迷惑をかけましたが、最近は、あまり失敗も無くなってきた様な気がします。まだ、一部の事しか出来ませんが、これから常田君と共に一つ一つ覚えて行きたいと思えます。

(高橋)

◆◆業務内容◆◆

- ・ワープロ、表計算ソフトの入力代行
(Word、一太郎、Excel等)
- ・各種書類作成
(サークル、自治会、研修会等)
- ・各種印刷
(名刺、ハガキ、の他、チラシ、ポスターなど)
- ・介護用品、福祉機器のカタログ販売
- ・配送代行
- ・その他軽作業
(てすり取り付け等)

連絡は TEL/25-2012
営業担当 佐藤・五十嵐まで

☆時間☆
午前9時～
午後4時まで



第一回さわやか鉦路

レクリエーション

7月15日(日)さわやか鉦路で初めてのレクリエーションが鶴居グリーンパークで行われました。参加者は11名。天候がずつと悪く、中止になるのではと心配もしましたが、当日は蒸し蒸しするほどの暑さで、みんな、ちよつとバテ気味でした。9時半に事務所を出発、最初にパークゴルフをし、景品をかけて2チームに分かれて対戦しました。景品は1位、3位、チーム賞、ブービー賞、ラッキー賞と分けました。あまりの暑さで途中で動くのもイヤになってきました。最後まで頑張りました。

優勝は所長の佐藤さん。マイクラブを持っているだけに、やはり一番上手でした。2位は伊藤さん。女性陣の中では一番と健

闘してしまいました。その後は焼肉。運動をしたあとなのでお腹もすき、みんな食は進んでいたようです。食事が終わったあとは自由行動とし、帰る人、魚釣りに行く人、パークゴルフと分かれて行動しました。

魚釣りでは、結構(?)釣ったみたいで、帰ってから天ぷらにすると書いていました。

帰ってきたのは、夕方です。みんな疲れていたとは思いますが、良い思い出になったのではないのでしょうか。

今回初めてレクリエーションが行われた訳ですが、なかなか全員の都合が合わず、難しい状況ですが、これからも実行していきたいとおもっています。



佐藤さん、細川さん、岩井さんと3人仲良く...

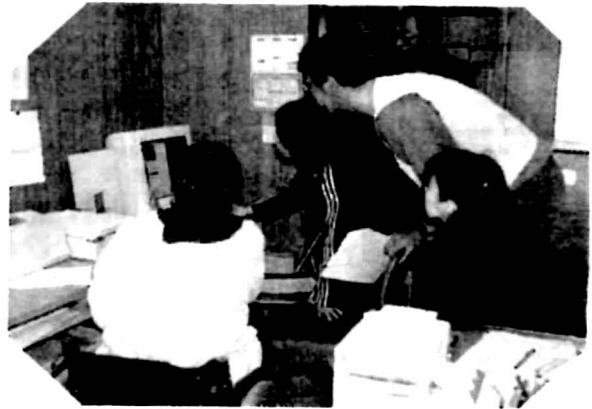
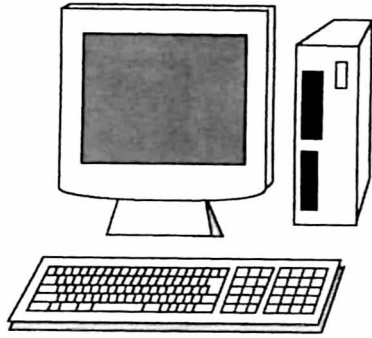


パソコン教室 始まる

今年の4月より、さわやか釧路の代表である上田さんが透析日だけ通所することに、本格的にパソコン教室を開始しました。

パソコン教室は希望者のみですが、一人一日2時間程度、上田さんと五十嵐さんの指導のもと、頑張っています。

パソコンは、「習うより、慣れる」という上田さんの言葉通り、希望者はパソコンがあいている時は使うようにしています。なかなか、すぐには覚えられないことではないので、みんな必死で頑張っているところです。



お知らせ

さわやか釧路では、11月より、年賀状・お縄販売を始めます。毎年、一般の方や難病連・腎友会関係の方々にたくさん注文をいただいております。今年も、10月中旬より見本の配布を予定しておりますので、ご希望の方は、ご連絡下さい。

案内図



編集後記

☆パソコン教室が終わった途端、さわやか通信をまかされてしまったが、「かがやき通信」(旭川)を参考にさせて頂いた、なんとか仕上げる事ができた。

☆慣れていないので、読みにくい所もあると思いますが、これから頑張っていくと思います。(上村)

(財)北海道難病連・釧路地方腎友会共同
(障害者地域共同作業所)

自立事業センター 「さわやか釧路」

〒085-0005 釧路市松浦町9-20

TEL 0154-25-2012 FAX 0154-25-2042

平成13年9月1日

関係各位

〒085-0005 釧路市松浦町9-20
自立事業センター「さわやか釧路」
通院介護支援センター「さわやか通院介護」
所長 佐藤 信洋

初秋の候、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

(財)北海道難病連釧路(管内)支部及び釧路地方腎友会に対しまして、日頃よりご協力、ご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、この度両患者団体が共同で運営しております障害者小規模作業所「さわやか釧路」及び通院介護支援センター「さわやか通院介護」の近況報告などを行うことを目的として「さわやか通信(2号)」及び「Positive(1号)」を刊行いたしますのでお送りいたします。

今後ともご理解とご支援のほど、よろしくお願いいたします。

敬 具

同 封

「さわやか通信(2号)」	1部
「Positive(1号)」	1部

No.1 Positive!!

**創刊!!**

通院介護支援センター「さわやか通院介護」のコミュニケーションペーパー、その名も『Positive!!』(〔ポジティブ〕:積極的、肯定的)。ボランティアされる側もする側も、いろいろ積極的に意見交換できる紙面にしたいと考えています。

創刊にあたり、当センターから代表と青友会から会長にご挨拶をさせていただきます。

常に安全運転で

通院介護支援センター『さわやか通院介護』

代表 上田 弘

『さわやか通院介護』利用者の皆さんお元気ですか。また、日頃から安全運転で、快く送迎下さっている送迎ボランティアの皆さん、連日の送迎活動大変有り難うございます。

『さわやか通院介護』の送迎事業も早いもので3年目に入っており、お陰さまで送迎事業に関する事務的・行動的な流れも定着しつつあります。

この送迎事業は、北海道難病連と釧路地方腎友会が共同で実施母体となっており、その実施母体に協力して下さる市民ボランティアさんの力によりながら、一人で通院困難な難病患者さんや透析患者さんを送迎しているのもであり、送迎ボランティアさんの協力を得られなければ実施困難な事業であります。どうか送迎ボランティアさんにおかれましては、今後とも安全運転にて御協力下さいますようお願い致します。

昨年からは介護保険が開始され、道内

でもハイヤー会社による通院送迎を、介護保険を適用して実施する所も出てきております。

当釧路地方においてもハイヤー会社で介護事業を取り扱う事業所が出てくると、利用者の経済的負担が軽減され、更に送迎利用者の拡大にもつながることであり、ハイヤー会社の努力を期待したいものであります。

近年、交通事故が多くなり、送迎ボランティアさんの送迎途中での万が一の事故等に対し、ささやかではありますが一部補償制度を、『さわやか通院介護』で設けましたので、遠慮無く申し出ていただきたいと思います。

これか暑さも本格的になり、車両運転にも注意を要する時節かと思っておりますので、時間に余裕を持って、一に安全、二に安全、三にも安全という気持ちの運転で、事故に遭わないよう細心の注意をもって送迎をして下さいますようお願い申し上げます。

通院介護支援センター『さわやか通院介護』 活動3周年を迎えて

釧路地方腎友会
会長 掛札 聖

北海道難病連釧路支部と釧路地方腎友会が共同で、車でなければ通院が困難な透析患者と、他難病患者のために平成11年6月から運行を開始した通院介護支援センター『さわやか通院介護』今年6月で満2年を迎えました。

運行開始当初、登録会員（送迎患者）は全て透析患者だけでしたが、平成12年からは他難病患者の会員も送迎するようになり現在に至っています。

この通院介護事業は、平成4年神奈川県平塚市で始まり、その後平成8年北九州市腎友会が『車を使わなければ移動が出来ない人』の通院介護支援事

業として行われてきました。その後北海道では釧路を皮切りに室蘭市、旭川市などで行われるようになりました。本来であれば介護保険制度の中で、国が行わなければならない事業であると考えます。釧路市内で現在介護ヘルパーの介護を受けてタクシーなど公共機関を利用して通院している透析患者が多数います。今後更にこのような患者さんのためにも通院介護支援センター『さわやか通院介護』の発展と、介護保険制度による通院送迎が可能になるよう活動していきたいと考えております。

利用会員とボランティア会員の中継点、 事務局スタッフの紹介と挨拶

所長 佐藤 信洋
(難病連釧路支部長)

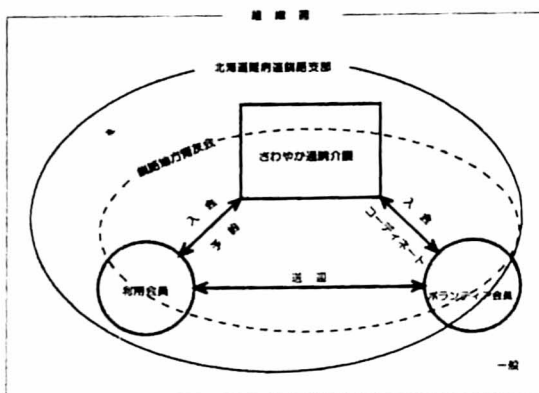
平成11年にスタートしましたこの通院送迎事業も3年目を迎え、初めて会報を発行することとなりました。

この会報発行により利用会員・ボランティア会員、そして事務局のお互いの情報がわかり、横の繋がりが深まるものと期待しています。

当初は試行錯誤でスタートしましたが、現在までの活動状況は1年目送迎回数634回(1ヶ月平均106回)、2年目送迎回数1,103回(1ヶ月平均138回)と順調に広がってきております。これまでに無事1件の交通事故もなくこれまでも、ボランティア会員を初めとした関係者の方々の協力があつての

ことと深く感謝申し上げます。

今後も、人と人がお互い助け合い、支え合っていくこの活動が、更に広がっていくことを願っています。



コーディネーター 五十嵐 信康

手探り状態からスタートした通院送迎サービス事業も3年目を迎えた。

介護保険スタートを目前にして、全国腎臓病患者連絡協議会の機関誌『ぜんじんきょう』でも、通院困難な透析患者の問題とともに、組織で対応を試みている患者会の記事が掲載された。

誰もが通院送迎サービスの必要性を感じていた中、『釧路でも』と難病連と釧路腎会役員から有志が集うかたちで、『さわやか通院介護』は誕生した。

既に活動を開始していた北九州の『さわやか』や全腎協等関係団体の御協力を頂けたことは大きな力になりました。この場を借りて感謝申し上げます。

普段の活動では『ボランティア会員の負担軽減』『利用会員に快適なサービス』を心がけていますが、両会員共に電話だけのやりとりが多く、事務局

では実務に於ける問題点を迅速には掴みづらいのが現状です。

皆様のご意見が活動の質の向上につながると思います、遠慮無くご意見ご要望を事務局までお寄せ下さい。

会計 上村 直子

会計を担当しています。

私も開設当初からボランティア会員に登録しました。

最初は不安や緊張もありましたが、少しずつ慣れてきました。私が送迎しているのは透析患者さんですが、透析のことはあまりよく解っていなかったもので、色々聞いたり等すると、とても大変なんだなあと思感しました。

これからも同じ難病患者として、お互いに助け合っていけたらなあと思っています。

ボランティア会員に登録してくれている方たちは、現在25人。登録会員数から見れば、圧倒的に少ない中、皆さん頑張ってくれています。そんなボランティア会員の中から、今回は腎友会会員で登録している方々にスポットをあててみました。

河野 正子^{さん}

私は子供の頃から病弱で、いつも誰かに守られている状態でした。その中でも、人のために尽くし、励ましていける自分にとってきました。

そんな時、この通院介護のお話を聞き、すぐに登録致しました。

一時の車中での対話は、私に勇気と元気を下さいます。

これからも、たくさんの人と巡り会い、そして学んでいきたいと思っていますので、どうぞ宜しくお願い致します。

伊藤 まゆみ^{さん}

通院介護が始まって3年が経ち、私が実際に活動したのは最初の1年だけで、現在は仕事の関係でなかなか活動が出来ずにいます。

毎週通院にタクシーを使うと通院費が大きな負担になる。バスだと体がしんどいと言う方の少しでも力になればと登録を希望しました。

これからも時間帯が合えば、月に1度でも活動出来ればと思っています。

橋本 巖^{さん}

私は、今まで2回しか2回活動させていただいていないので心苦しいのですが、他のボランティアの人の話を聞くと、『さわやか通院介護』の送迎を利用している方は皆体調の思わしくない方が多いと言うことです。

この『さわやか通院介護』の献身的な取組が、行政にその大変な状況を訴え、なにがしかの送迎制度が出来上がることを祈らずにはられません。

大 本 勝 美さん

平成 12 年 2 月に通院介護の取組を始めましたが、諸問題をクリアーして 6 月よりスタート出来ました。私も同じ患者としてボランティアに参加しています。

初めは週 3 回でしたが、今は 1 回です。今担当している方は 95 歳の高齢者ですが、足も達者ですし耳も普通で問題ありません。

今後も運転出来る限り続けたいと思っています。

※ほか佐藤 信洋、掛札 聖、五十嵐 信康、竹内 昇、奈良 達也、
金井 英雄（順不同敬称 略）も登録しています

掲示板

会員のみなさんへ

みなさんのための『掲示板』です。
『ご意見』『感想』など、通院に関する事、そうでない事、何でも結構ですので、お便り下さい。
お待ちしております。



ボランティア会員のみなさんへ

毎週木曜日、翌週の予定をお伺いする電話をお掛けしています。
木曜日に外室、出張など登録された連絡先に長時間不在の時は、ボランティア会員の方から連絡してくれると助かります。
よろしく願いいたします。

利用会員のみなさんへ

毎週の予約電話を忘れずをお願いします。
入院など、予約の変更がある場合も忘れずに事務局まで連絡してください。
運行寄付金の請求ミスなどにつながりますので、よろしく願いいたします。



会員のみなさんへ注意

個人的に送迎の依頼や、ボランティア会員の都合をうかがったり、又承諾はしないで下さい。

必ず事務局を通じて予約を入れてください。

ボランティア会員は全員『出来れば、送迎してあげたい』と言う方ばかりです。
利用会員さんには直接断りづらい方もいらっしゃると思います。

定期的に通院されている病院以外でも予約は受け付けるので、必ず事務局に連絡して、利用会員とボランティア会員同士でのやり取りはしないで下さい。